

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年3月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

**放送批評懇談会**

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年3月度ギャラクシー賞月間賞

**ねほりんぱほりん「震災で家族が行方不明の人」**

3月11日放送 22:50~23:20 日本放送協会

語り手を悲劇のヒロインに演出せず、本人も自然体。お互いぬいぐるみという手法だから聞ける本音トークは目からうろこの連続で、この1本だけで受信料を払っている意味を感じた。語り手の人選の素晴らしさは、被災地を取材し続けているディレクターならではの。

**NNNドキュメント'20「19人を殺した君と重い障がいのある私の対話」**

3月15日放送 24:55~26:24 北日本放送

裁判が予定される日の早朝（真夜中）に放送し、「裁判は今日」というコメントで終わるタイムリーな編成。重い障がいを抱えつつ、植松聖被告との接見を実現し、彼の心の奥に迫ろうとする八木勝自さんの使命感によって、優生思想に対する課題が明確に提示される。取材者の姿勢も凜として、ジャーナリストとしての誠実なアプローチが光る。

**映像研には手を出すな！**

1月5日~3月22日放送 24:10~24:35 日本放送協会 「映像研」製作委員会

3人の女子高生たちがアニメ作りに奮闘。現実の世界に彼女たちが想像する「最強の世界」がシームレスにあらわれる描写など、躍動感あふれるアニメーションならではの表現は圧巻。想像の世界ではSEを声で表現するなど創作に対するこだわりが満ち、アニメーションの快樂が詰まっていた。主人公を演じた伊藤沙莉もハマリ役だった。

**ドラマ24「コタキ兄弟と四苦八苦」**

1月10日~3月27日放送 24:12~24:52

テレビ東京 AOI Pro. 「コタキ兄弟と四苦八苦」製作委員会

クセの強いおじさん二人がさまざまな出来事に四苦八苦する姿を描くコメディ。予想よりも「苦」の部分に強くフォーカスが当たっていて、さすが野木亜紀子脚本と唸らされた。古舘寛治と滝藤賢一が持ち味を最大限に活かしてダメおやじ兄弟を好演。意外に出番の多かった宮藤官九郎の本気の怒り顔も印象に残る。